

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ア	3Rの推進	
施策	② 未利用資源の活用の推進		
主な取組	オガコ養豚普及促進事業	実施計画 記載頁	26
対応する 主な課題	○本県の世界に誇る自然環境を保全することに加え、本県は狭隘な地理的条件にあることから、廃棄物の減量化など環境負荷を軽減する循環型社会を構築する必要があり、県内で発生した廃棄物の有効利用が求められている。		

1 取組の概要(Plan)

取組内容	養豚における悪臭対策に優れるほか、効率的にふん尿の再利用ができるセルフクリーニング式オガコ養豚の普及を図るため、オガコの安定供給に向けた調査、講習会の開催・データ収集など普及啓発の取り組み、オガコ養豚方式導入に向けた豚舎改修などの費用助成を実施する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体 県
	17戸改修等 支援農家数			→	50戸	→	
	オガコ養豚施設への改修等支援						
担当部課	県農林水産部畜産課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
オガコ養豚普及促進事業	5,506	4,328	○オガコ安定供給・代替資材可能性調査 ○農家講習会、リーフレット作成、経営データ収集、先進地視察 ○豚舎構造調査、改修案作成などの実施 【一括交付金(ソフト)】	-
活動指標名			計画値	実績値
オガコ養豚について農家普及啓発のための講習会の実施			-	講習会の実施
改修等支援農家数			17戸	18戸
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	○農家講習会においては、畜産研究センターの最新知見である消石灰混合殺菌オガコの効果についてなどをテーマとし、オガコ養豚導入の阻害要因となっている衛生対策について養豚農家に周知できた。 ○オガコ安定供給・代替資材調査においては、回収される剪定枝の賦存量が約8万tであり、安定供給に向けたオガコの代替資材として期待されることが明らかとなった。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
オガコ養豚普及促進事業	78,917	○剪定枝などの物理化学性状調査、予備試験 ○実証展示豚舎の設置 ○オガコ養豚方式導入に係る豚舎改修費等の助成 【一括交付金(ソフト)】	-

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

○養豚農家の衛生面での不安が根強いことを反映し、消石灰を混合した殺菌オガコの効果について、実証展示豚舎を活用してデータ収集する。
○オガコの代替としての可能性が明らかになったことを反映し、剪定枝オガコの活用について調査・研究を中心に検討する。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
-	-	-	-	-	-
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
オガコ養豚技術を取得した農家の数	-	-	18戸 (24年)	→	-
状況説明	○オガコの安定供給に係る課題については、代替資材可能性調査において、県内で回収される街路樹などの剪定枝の可能性が示された。 ○農家講習会を実施し、オガコ養豚における衛生対策の新知見などを情報提供した。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

○オガコ養豚方式の普及促進の取組にあたり、オガコ養豚での衛生面での不安や高齢化により、畜舎改修が困難であるなど普及にあたっての課題が浮き彫りとなっている。
○高齢かつ後継者がいない場合には、畜舎の改修などが必要となるオガコ養豚方式の導入はハードルが高い。
○水洗をしない「オガコ養豚方式」の導入は、衛生面での不安やオガコ資材の安定調達が懸念されている。 ○本県の養豚は、企業の預託により行われている割合が高く、預託先農家は環境への意識が薄い。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

○衛生面の不安に対しては、「消石灰混合殺菌オガコ」による方法について農家検証する必要がある。
○預託先農家の環境への意識向上については、預託元企業とも連携して取り組む必要がある。
○剪定枝など代替資材の利用についての研究・検証に取り組む必要がある。

4 取組の改善案(Action)

○実証展示豚舎を設置し、消石灰を混合した殺菌オガコの効果について、農家検証を行うほか、現地検討会を開催し農家や地域住民への理解醸成を行う。
○剪定枝を中心とした代替資材の活用に関する研究、調査を推進する。
○オガコ養豚志向農家へ助言・誘引し、豚舎改修モデルの設置に助成を行うほか、導入後の技術支援を実施する。

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ア	3Rの推進	
施策	② 未利用資源の活用の推進		
主な取組	環境保全型農業支援	実施計画 記載頁	26
対応する 主な課題	○本県の世界に誇る自然環境を保全することに加え、本県は狭隘な地理的条件にあることから、廃棄物の減量化など環境負荷を軽減する循環型社会を構築する必要があり、県内で発生した廃棄物の有効利用が求められている。		

1 取組の概要(Plan)

取組内容	養豚における悪臭対策に優れるほか、効率的にふん尿の再利用ができるセルフクリーニング式オガコ養豚の普及を図るため、オガコの安定供給に向けた調査、講習会の開催・データ収集など普及啓発の取り組み、オガコ養豚方式導入に向けた豚舎改修などの費用助成を実施する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	オガコ養豚施設への改修等支援					→	県
担当部課	県農林水産部畜産課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
オガコ養豚普及促進事業	5,506	4,328	○オガコ安定供給・代替資材可能性調査 ○農家講習会、リーフレット作成、経営データ収集、先進地視察 ○豚舎構造調査、改修案作成などの実施【一括交付金(ソフト)】	-
活動指標名			計画値	実績値
オガコ養豚について農家普及啓発のための講習会の実施			-	講習会の実施
改修等支援農家数			-	18戸
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	○農家講習会においては、畜産研究センターの最新知見である消石灰混合殺菌オガコの効果についてなどをテーマとし、オガコ養豚導入の阻害要因となっている衛生対策について養豚農家に周知できた。 ○オガコ安定供給・代替資材調査においては、回収される剪定枝の賦存量が約8万tであり、安定供給に向けたオガコの代替資材として期待されることが明らかとなった。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
オガコ養豚普及促進事業	78,917	○剪定枝などの物理化学性状調査、予備試験 ○実証展示豚舎の設置 ○オガコ養豚方式導入に係る豚舎改修費等の助成【一括交付金(ソフト)】	-

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

○養豚農家の衛生面での不安が根強いことを反映し、消石灰を混合した殺菌オガコの効果について、実証展示豚舎を活用してデータ収集する。
 ○オガコの代替としての可能性が明らかになったことを反映し、剪定枝オガコの活用について調査・研究を中心に検討する。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
-	-	-	-	-	-
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
オガコ養豚技術を取得した農家の数	-	-	18戸 (24年)	→	-
状況説明	○オガコの安定供給に係る課題については、代替資材可能性調査において、県内で回収される街路樹などの剪定枝の可能性が示された。				
	○農家講習会を実施し、オガコ養豚における衛生対策の新知見などを情報提供した。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

○オガコ養豚方式の普及促進の取組にあたり、オガコ養豚での衛生面での不安や高齢化により、畜舎改修が困難であるなど普及にあたっての課題が浮き彫りとなっている。
 ○高齢かつ後継者がいない場合には、畜舎の改修などが必要となるオガコ養豚方式の導入はハードルが高い。
 ○水洗をしない「オガコ養豚方式」の導入は、衛生面での不安やオガコ資材の安定調達が懸念されている。 ○本県の養豚は、企業の預託により行われている割合が高く、預託先農家は環境への意識が薄い。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

○衛生面の不安に対しては、「消石灰混合殺菌オガコ」による方法について農家検証する必要がある。
 ○預託先農家の環境への意識向上については、預託元企業とも連携して取り組む必要がある。
 ○剪定枝など代替資材の利用についての研究・検証に取り組む必要がある。

4 取組の改善案(Action)

○実証展示豚舎を設置し、消石灰を混合した殺菌オガコの効果について、農家検証を行うほか、現地検討会を開催し農家や地域住民への理解醸成を行う。
 ○剪定枝を中心とした代替資材の活用に関する研究、調査を推進する。
 ○オガコ養豚志向農家へ助言・誘引し、豚舎改修モデルの設置に助成を行うほか、導入後の技術支援を実施する。